

県立川越工業高校 <<活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）>>

課程	定時制	学科	普通科 工業技術科	R8.5.1 生徒数	(男) 91 (女) 34	計 125			
アクセス	東武東上線、JR川越線「川越駅」下車 徒歩10分 西武新宿線「本川越駅」下車 徒歩7分								
<目指す学校像>									
<p>社会の変化に主体的に対応できる力と自立する力を育成する。</p> <p>〈重点目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣の確立と基礎学力、技能の定着を図る。 2 地域社会や家庭との連携を推進する。 3 生徒一人ひとりの個性に応じた進路実現を目指す。 									
<教育課程等> ※ 1									
<ul style="list-style-type: none"> ・単位制を導入 ・普通科は各年次1クラスの設置 ・工業技術科は3・4年次2クラス（機械類系・電気類型）、1・2年次1クラスを設置し、実習科目を中心に授業を展開 ・毎日、授業前における給食の時間の設定（17:00～17:30） ・毎日、SHR+45分×4限の授業展開 ・「ICT機器」を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学びを」を意識した授業を展開 ・普通科、工業技術科とも資格取得の取組を推進 ・多数の部活動があり、毎日盛んに活動 									
<本校が求める生徒> ※ 2									
<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送れる生徒 ・高校で学ぶ意欲を持った生徒 ・学校のルールを守れる生徒 									
<学校行事>									
<p>対面式（4月）、体育祭（9月）、工業祭（10月）、修学旅行（4年次11月） 一日旅行（11月）、球技大会（12月）卒業生を送る会（2月） 各年次進路ガイダンス・キャリアデザイン授業（適宜）</p>									
<部活動>									
<p>運 動 部…サッカー部、バスケットボール部、バドミントン部、卓球部 文 化 部…工業技術部、軽音楽部、芸術部</p>									
<家庭・地域との連携>									
<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度県立高校就職支援アドバイザー配置校 ・令和8年度埼玉県スクールソーシャルワーカー拠点校 ・令和8年度埼玉県スクールカウンセラー対象校 ・令和8年度多文化共生推進事業に係る日本語支援員の配置校 ・令和8年度共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業に係る高等学校拠点校（巡回支援員） ・令和8年度学習サポーター配置校 ・体育祭における保護者の参観 ・工業祭（文化祭）における製作・出品・販売 ・「彩の国教育週間」に行われる授業公開 									
進路	R8.3 卒業生	四大	4人	短大	0人	専門	1人	就職	18人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、若干名の四大等進学者がいる。 ・就職希望者の割合が増えている。 ・地元企業との関わりが強くなってきている。 							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※ 2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

県立川越工業高等学校 定時制の課程

～ 育成方針 ～

【目指す学校像】

社会の変化に主体的に対応できる力と自立する力を育成する。

【本校の特色】

◇ 普通科と工業技術科を設置し、基礎基本から発展まで学びます。

◇ 多様な生徒個々に適したサポートを充実させ、一人ひとりの特性を生かした進路実現を目指します。

◇ 生徒会活動や部活動が盛んで、全国大会へ出場した経験がある部活動もあります。

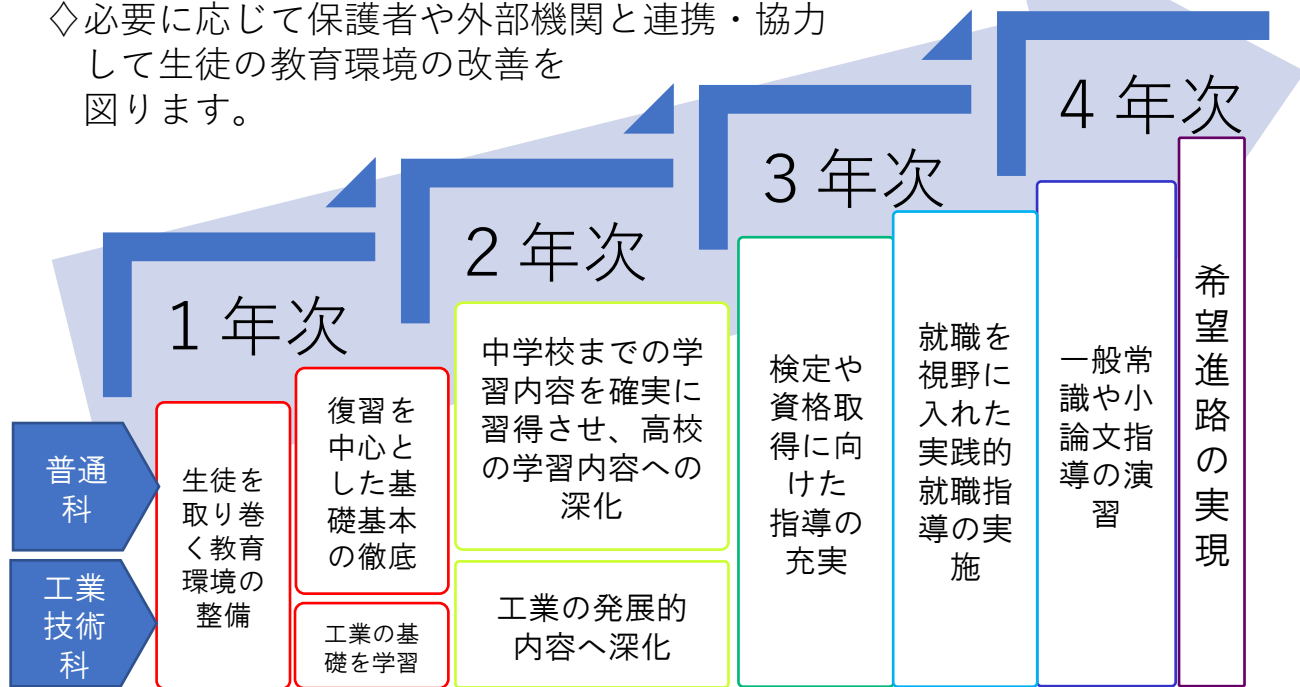


【本校の魅力】

◇ 多様な生徒へのきめ細やかな指導が本校の最大の魅力です。

◇ 高校で学ぶ意欲を持った生徒に教員が熱意を持って指導します。

◇ 必要に応じて保護者や外部機関と連携・協力して生徒の教育環境の改善を図ります。



部活動

バドミントン、バスケットボール部が全国大会に出場

外部機関との連携

SSW, SC, 就職支援アドバイザー, 巡回支援員との連携

県事業の積極的活用

学習サポーター事業,
多文化共生推進事業の活用

給食

始業前に、生徒と教職員と一緒に給食を食べます。毎日HPに更新

